

京都ノートルダム女子大学学修成果の評価に関する方針（アセスメント・ポリシー）

本学における学生の学修成果を測定・把握し、教育成果の検証及び各種プログラムの改善に資するため、以下の方針に基づき学修成果の評価をおこなう。

1 評価基準

本学における学修成果は、「卒業認定・学位授与方針」に示す能力（ND6）※の修得状況を基準として評価する。

※ DP1：自分を育てる力，DP2：知識・理解力，DP3：言語力，DP4：思考・解決力，DP5：共生・協働する力，DP6：創造・発信力

2 評価方法

機関（大学）レベル、学位プログラム（学科）レベル、科目レベルの各段階から、以下に示す評価指標を用いて総合的・多面的に評価する。

[1] 機関（大学）レベル

就職率、学生生活実態調査、卒業時アンケート等から大学における活動全体を通じた学修成果の達成状況を評価する。

[2] 学位プログラム（学科）レベル

各学部・学科の教育課程における卒業論文・卒業研究の成果、GPA、免許・資格の取得状況等から学位プログラムとしての学修成果の達成状況を評価する。

[3] 科目レベル

シラバスに設定された科目の到達目標、ルーブリック評価、成績評価や授業アンケート等の結果から、科目ごとの学修成果の達成状況を評価する。

	評価対象	評価指標
機関(大学)レベル	大学における活動全体を通じた学修成果	就職率・進学率 学生生活実態調査 卒業時アンケート 卒業生調査
学位プログラム(学部・学科)レベル	学位プログラムとしての学修成果	卒業論文・卒業研究の成果 外部アドバイザー会議 達成度点検 DPによるカリキュラム点検 プレイスメントテスト、アチーブメントテスト（英語） GPA 免許・資格の取得状況
科目レベル	科目ごとの学修成果	各科目の成績評価 ルーブリック評価 授業評価アンケート